

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

|                |                             |   |              |
|----------------|-----------------------------|---|--------------|
| ○事業所名          | こどもデイサービス mottoAELL（もっとあえる） |   |              |
| ○保護者評価実施期間     | R8年 2月 13日                  |   | ～ R8年 3月 16日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 9 | (回答者数) 5     |
| ○従業者評価実施期間     | R8年 3月 20日                  |   | ～ R8年 3月 25日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 5 | (回答者数) 5     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 25日                  |   |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                               |
|---|--|--|--|
| 1 | 一人ひとりの「できた」を大切に、自己肯定感を育む支援を行っている。          | 小さな成功や頑張りを見逃さず、その都度具体的に褒めることで、自信につなげている。<br>また、できることから取り組めるよう段階的な支援を行っている。       | 個々に応じた目標設定を行い、達成感を積み重ねられるような関わりをさらに充実させていく。  |
| 2 | 発達段階に応じたスモールステップでの支援を行い、無理なく成長を促している。      | 課題を細かく分け、一つひとつ達成できるよう段階的に関わっている。<br>また、「できた」という経験を積み重ねられるよう、成功しやすい環境設定を行っている。    | 個々の発達に応じた支援内容の見直しを行い、より適切なステップ設定ができるようにしていく。 |
| 3 | 手先や身体を使った活動を通して、基礎的な発達を促している。              | 手先を使う活動や身体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら感覚や運動面の発達につなげている。<br>また、お子様の興味や得意なことを活かした活動設定を行っている。 | 活動内容の幅を広げ、個々の発達課題に応じたプログラムの充実を図っていく。         |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 支援内容の見える化が十分でない。                           | 日々の支援は行えているが、その意図やねらいが記録や共有の中で明確になっていない場合がある。<br>また、職員間で共通認識として整理されていないことがある。    | 支援の目的やねらいを明確にした記録を行い、誰が見ても分かる形で整理する。<br>また、支援内容の言語化を意識し、共通理解を深めていく。       |
| 2 | 活動のねらいが曖昧になることがある。                         | 活動自体は実施できているが、その活動を通して何を身に付けるのかという目的が十分に整理されていない場合がある。<br>また、職員間での認識に差が生じることがある。 | 活動ごとにねらいを明確にし、事前に職員間で共有する。<br>また、活動後にねらいに沿った振り返りを行い、次の支援につなげていく。          |
| 3 | 事業所全体としての強みの発信が十分でない。                      | 日々の支援は充実しているが、それを対外的に発信する機会や手段が限られている。<br>また、情報発信の役割が明確になっていない。                  | 活動の様子や取り組みを積極的に発信し、事業所の特色が伝わるようにする。<br>また、情報発信の担当や方法を整理し、継続的に行える体制を整えていく。 |

公表

## 事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

|                |                             |    |              |
|----------------|-----------------------------|----|--------------|
| ○事業所名          | こどもデイサービス mottoAELL（もっとあえる） |    |              |
| ○保護者評価実施期間     | R8年 2月 13日                  |    | ～ R8年 3月 16日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 27 | (回答者数) 16    |
| ○従業者評価実施期間     | R8年 3月 20日                  |    | ～ R8年 3月 25日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                      | 5  | (回答者数) 5     |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | R8年 3月 25日                  |    |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等  | さらに充実を図るための取組等                        |
|---|--|--|---------------------------------------|
| 1 | 手先や身体を使った活動を通して、基礎的な発達を促している。              | 手先を使う活動や身体を動かす活動を取り入れ、楽しみながら感覚や運動面の発達につなげている。<br>また、お子様の興味や得意なことを活かした活動設定を行っている。     | 活動内容の幅を広げ、個々の発達課題に応じたプログラムの充実を図っていく。  |
| 2 | 継続して取り組む経験を通して、やり遂げる力を育てている。               | 活動に一定時間集中して取り組めるよう環境を整え、途中で投げ出さずに最後までやり切る経験を大切にしている。<br>また、個々のペースに合わせて無理のない支援を行っている。 | 活動内容の工夫や段階設定を見直し、継続して取り組む力をさらに伸ばしていく。 |
| 3 | 成功体験を積み重ねることで、自信や意欲を引き出す支援を行っている。          | 活動の中で達成しやすい目標を設定し、できたことを具体的に認める関わりを行っている。<br>また、周囲と比較するのではなく、本人の成長に焦点を当てて評価している。     | 個々に応じた目標設定の精度を高め、より達成感を得られる支援につなげていく。 |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等  | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等  |
|---|--|--|---|
| 1 | 支援内容の見える化が十分でない。                           | 日々の支援は行えているが、その意図やねらいが記録や共有の中で明確になっていない場合がある。<br>また、職員間で共通認識として整理されていないことがある。    | 支援の目的やねらいを明確にした記録を行い、誰が見ても分かる形で整理する。<br>また、支援内容の言語化を意識し、共通理解を深めていく。       |
| 2 | 活動のねらいが曖昧になることがある。                         | 活動自体は実施できているが、その活動を通して何を身に付けるのかという目的が十分に整理されていない場合がある。<br>また、職員間での認識に差が生じることがある。 | 活動ごとにねらいを明確にし、事前に職員間で共有する。<br>また、活動後にねらいに沿った振り返りを行い、次の支援につなげていく。          |
| 3 | 事業所全体としての強みの発信が十分でない。                      | 日々の支援は充実しているが、それを対外的に発信する機会や手段が限られている。<br>また、情報発信の役割が明確になっていない。                  | 活動の様子や取り組みを積極的に発信し、事業所の特色が伝わるようにする。<br>また、情報発信の担当や方法を整理し、継続的に行える体制を整えていく。 |